

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	被災地ボランティアセンター支援事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	東京都生活文化局 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
実施期間	平成23年7月16日～平成24年3月31日
支援額 (注釈参照)	27,097,291円 (内訳) ○長期ボランティア・コーディネーター派遣 人件費:12,028,645円、旅費交通費:2,716,951円、通信運搬費:394,578円、 賃借料:2,449,845円、修繕費:30,475円、消耗品費:170,675円、役務費:29,715円 ○短期ボランティア・コーディネーター派遣 人件費:2,894,357円、旅費交通費:5,077,310円、ガソリン代:172,348円、 賃借料:1,090,077円、役務費:42,315円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	都民ボランティア事業で支援に入った陸前高田市社会福祉協議会や気仙沼市協議会から、都民ボランティア事業終了後も支援の要請があり、また他の被災地の状況も依然として外部支援を必要とする状況であったため、被災地ボランティアセンターの継続支援を準備、調整、運営した。 具体的には、東京都社会福祉協議会が、被災地の災害ボランティアセンター等への支援調整の窓口となり、派遣人員の確保や現地での宿舎等の住環境の確保などを現地と連絡を取り合いながら実施し、支援の方向については東京都生活文化局と打ち合わせながら進めた。
事業概要	東日本大震災の被災地において、多くのボランティアを被災地に誘導する支援スキームが必要とされる中、ボランティアと被災地(者)との調整役となるコーディネーターが不足しており、現地の被災地の災害ボランティアセンターからの強い派遣要請を受けて、本事業を実施した
事業内容	1 <事業目的> (1)災害ボランティアセンターの運営や業務に携わることで、ボランティアによる被災地の復興支援を行う (2)災害ボランティアセンターの運営方法や業務内容を実務に携わりながら学ぶことで、東京で災害が発生した時の中核となる人材を育成する 2 <実施事項> (1)ボランティアの受け入れ調整等を行うため、ボランティア・コーディネーターを継続して長期派遣し、被災地の災害ボランティアセンターでボランティアコーディネーターやボランティアセンターの運営業務等に従事した (2)上述の長期派遣ボランティア・コーディネーターの補助として、また、要請を受けた被災地のボランティアセンター等に、短期のボランティアコーディネーターを派遣し、災害ボランティアセンターの運営や業務に従事させ被災地の復興を支援すると共に、ボランティアコーディネーター育成の機会とした

	<p>3 <実施方法></p> <p>(1) 長期ボランティア・コーディネーター派遣 宮城県気仙沼市社会福祉協議会及び岩手県陸前高田市社会福祉協議会の要請に従い、都民ボランティアOBを東京ボランティア市民活動センターの非常勤職員として、被災地に長期派遣した(一人当たり月：基本16日勤務で入れ替わり)</p> <p>(2) 短期ボランティア・コーディネーター派遣 一人当たりの派遣期間を1週間から最長31日までとし、都内区市町村の社会福祉協議会及び都民ボランティアOBから希望者を募集した。都民ボランティアOBについては、書類選考及び面談ののち派遣者を決定した 被災地災害ボランティアセンター等への受け入れコーディネートした後、移動や宿舎等を確保し各地にボランティア調整及び運営補助スタッフとして派遣した</p>		
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>(1)長期ボランティア・コーディネーター派遣 派遣述べ672人日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市ボランティアセンターに、延べ226人日(派遣人員トータル3名) ・陸前高田市災害ボランティアセンターに、延べ446人日(派遣人員トータル5名) <p>(2)短期ボランティア・コーディネーター派遣 派遣人数：112人、派遣日数述べ：1,480人日</p> <p>※詳細は、別添書類を参照のこと</p> <p>本事業によって、被災地の支援拠点である災害ボランティアセンター及び復興支援センター等において、災害ボランティア受け入れ調整及び多岐に渡るボランティアセンター運營業務等を補佐し、外部支援者として被災地の復興を継続的に支援した</p> <p>特に、本事業を開始した時期は、発災直後の災害復興期から生活再建のための支援に切り替わる過渡期であり、被災地支援では役割を終えて引き上げる外部支援団体もあり、人員不足に陥ったボランティアセンターにおいて、本事業による派遣者は各センターの一員として多くの業務を遂行するに至った</p> <p>また、派遣者にとっては、被災地災害ボランティアセンターの運営に関わる経験の場として、災害ボランティアセンター及び災害ボランティア・コーディネーターに関する見識を広げる機会となった</p> <table border="1" data-bbox="419 1585 1458 1722"> <tr> <td data-bbox="419 1585 550 1722"> <p>評価ランク</p> </td> <td data-bbox="550 1585 1458 1722"> <p><input checked="" type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた □A：優れた成果が得られた □B：一定の成果が得られた □C：限定的であるが成果が得られた □D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)</p> </td> </tr> </table>	<p>評価ランク</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた □A：優れた成果が得られた □B：一定の成果が得られた □C：限定的であるが成果が得られた □D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)</p>
<p>評価ランク</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた □A：優れた成果が得られた □B：一定の成果が得られた □C：限定的であるが成果が得られた □D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)</p>		

2. 添付書類

(1) 「被災地ボランティアセンター支援事業」報告

- ・長期ボランティア・コーディネーター派遣の実施内容および実績について
- ・短期ボランティア・コーディネーター派遣の実施内容および実績について